

**就職 転職** を目指す社会人対象!!

2020年度  
後期

# 六級海技士 [航海科] 募集



～徳島阿南校開校～

海を仕事にしませんか!! 海運業界では、皆さんのヤル気を待っています。

## 六級海技士（航海）第一種短期養成科

定員	15名
募集期間	令和2年9月23日～令和3年1月21日
選考日時(選考試験)	令和3年1月26日(火) 午前10時
訓練実施期間	令和3年2月16日～令和3年7月12日

※定員に満たない場合(12名未満)中止する場合があります。

入校資格	講習開始までに18歳に達し、選考試験に合格した方
選考試験場所	徳島県阿南市 阿南商工会議所
選考試験内容	■ 面接 ■ 筆記試験 ■ その他(身体適性・書類審査)
訓練目的及び訓練で取得できる資格	この養成科では、全く乗船経験がない方(通常では2年以上の乗船履歴が必要)でも、短期間(約10.5カ月)で、職業船員の登竜門である「六級海技士(航海)」の資格が取得でき、船長への道が開けます。
受講の為に必要な費用	裏面参照

☆出願及び問い合わせ先

一般財団法人 尾道海技学院  
尾道海技大学校

住所 : 広島県尾道市栗原東二丁目18番43号  
電話 : 0848-37-8111  
FAX : 0848-37-8110

☆講習実施場所

一般財団法人 尾道海技学院 尾道海技大学校  
徳島阿南校

Mail : kaigigakuin.ananbunkou@gmail.com  
電話 : 0884-24-8643

# 就職・転職を目指す社会人対象

## ① 特徴、セールスポイント

- 内航船舶への就職に求められる六級海技士免状(航海)の取得には通常は2年以上の実務経験が必要です。  
本科では訓練過程を修め、卒業後6ヶ月(有給休暇は除く)以上の実務経験を積み、身体検査に合格すれば六級海技士免状が取得できます。
- カリキュラムのうち、2ヶ月は実際の内航船舶等に乗船して実習を行います。

## ② 想定している受講生 (こんな方に受講してほしい)

- 海が好きで憧れているが、今まで船員になるための教育を受けてない方
- 短期間で、海技士資格を取得し、船員として就職を目指し、協調性と向上心のある方
- 海洋環境にやさしい大量輸送手段である船舶で、環境保全に貢献したい方
- 船長や機関長を目指し、目標に向かって努力することのできる方

## ③ 就職先で想定している 知識・技能(スキル)

- 船舶育成に関する法令・基準に従い、船員として必要な基礎的な知識、技能を指導していきます。
- 船員としての心・認識・価値観が持てるよう、特色のあるカリキュラム編成を行います。
- 海運業界の動向や船舶の運航形態など最新情報を提供し、業界に必要な人材の養成に努めます。
- 社船実習では、個々のレベルや特性を考慮し、シーマンシップが育めるように展開していきます。

## ④ 就職支援の内容

1. 職業相談の実施
2. 履歴書作成指導
3. 面接にあたっての指導
4. 求人情報の提供
5. 各種就職説明会の案内
6. 船員職業紹介事業所(学内)の就職支援

## ⑤ 受講支援の内容

1. 船員の「公共職業訓練制度」が利用できる。(受給資格条件あり)
2. 教育訓練給付制度(厚生労働省)指定講座(給付に条件あり)  
※詳細は、最寄のハローワークにご相談下さい。

## ⑥ 受講に必要な費用

1. 受講料 航海コース(420,300円)(資格取得費、教本/教材費・保険料含む)
2. 社船の費用 実習船における実習期間中の宿泊費・寝具等の負担はないが、食費(1日あたり3食1,300円程度)は訓練生負担
3. 社船のための交通費 実習船の停泊している乗船地までの交通費及び下船地よりの交通費は訓練生負担
4. 宿泊費

## ⑦ 訓練の内容

科目	六級海技士(航海)の科目の内容	時間	
学科	航海学Ⅰ	国内航海における航海術(航海計器・航路標識等)	35
	航海学Ⅱ	国内航海における総合航海術(航海計画・地文及び電波航法等)	35
	運用学Ⅰ	船舶の構造・設備・貨物の積み付け・船の安定(復元性)	50
	運用学Ⅱ	操船・海象及び気象・非常時の措置(衝突・乗揚げ・火災・救助・救援)	55
	海事法規	海上交通法規・海事関係法規(海洋汚染防止・船舶安全法)	67
	(安全・衛生)	船員法に定める船内生活及び船内作業における安全・衛生	3
	就職指導	履歴書の書き方・面接対応	15
実技	航海実技Ⅰ	(1)航海術(航海計器・航海標識・水路図誌・潮汐及び海流)の演習 (2)速力計算・自差測定・陸標及び航海計器による船位測定の実習	25 25
	航海実技Ⅱ	(1)総合航海術(備讃瀬戸・来島海峡・航海計画及び航海)の実習 (2)海事法規の応用実習・航海当直及び停泊当直等の実習	25 25
	運用実技Ⅰ	(1)船舶の構造・設備・船の安定(復元性)実務確認 (2)操船の実習・気象海象の演習	20 20
	運用実技Ⅱ	安全衛生・非常時の措置(救急法・AED・水上安全法等)の実習	35
	乗船実習	実際の内航船舶に乗船し、実務を習得	245
	計		680時間

## ⑧ 就職の実績

この養成科の船員職への就職率 **95.7%** (平成30年3月末までの各回平均実績)

訓練実施 施設名 一般財団法人 尾道海技学院  
尾道海技大学校  
所在地 〒722-0025  
広島県尾道市栗原東二丁目18-43

TEL・FAX TEL.0848-37-8111 FAX.0848-37-8110  
ホームページ <http://www.marine-techno.or.jp>  
E-mail [onomichi@marine-techno.or.jp](mailto:onomichi@marine-techno.or.jp)